

心聖会 広報誌

発行：社会福祉法人 心聖会
 広報委員会
 発行責任者：吉村 優児
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池393

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

広報こいけ

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



秋イベント開催のご報告

小池更生園 佐久間 悠

「ヨシしくぞー笑顔こぼれる秋の祭典²⁰²⁵」をスローガンに掲げた今年の秋イベントは、心聖会の各事業所合同での開催となりました。昨年よりもパワーアップしたポイントとして、より地域に開かれたイベントを目指したことが挙げられます。ポスティングを中心とした広報活動により、地域の皆さまに気軽にお越し頂けるよう工夫したほか、ご利用者・ご家族・地域住民の交流の輪を広げるようなイベントを目指しました。メインとなる催事にも例年以上に力を注ぎ、今年度は、芸人のあっち様をお招きしての、ものまねショーを開催しました。吉幾三や井上陽水といった名タレントたちのものまねが次々に繰り出されると、観客の皆様の大きな拍手や笑い声が会場全体に響き渡り、昨年以上の盛り上がりを実感することができました。さらに、キッチンカー4台を招いてのお食事や、小池更生園みそ加工班の「小池みそ」「ピッコロスターニョコーヒー」をはじめとする物販・バザーコーナー、思わず熱中してしまうゲームコーナーなど、ご利用者・ご家族・地域の皆様、それぞれが楽しんでいただける催し物が会場各所で用意されました。心聖会の職員が制作した事業所紹介VTRが放映されるなど、心聖会について地域の皆様に広く知っていただく試みも行われました。ご利用者・ご家族・そして地域の皆様のお力添えもあり、今年度の秋イベントも大盛況となりました。

秋イベントレポート ～各事業所から～

小池更生園

今回の秋イベントは、キッチンカー4台が参加する、大変賑やかなものとなりました。副業でキッチンカーの営業をしている職員が、その経験を活かして各業者様とのやりとりを行った結果、今回の出店が実現しました。

副業が一般的になっていく中で、心聖会の外で得た経験や技術が、こうした形でご利用者やご家族の皆様のお役に立ったことは、大変うれしく感じられます。今後も、職員の多種多様なスキルを活用しながら、ご利用者の喜びに繋がる支援を続けてまいります。



大人気のキッチンカー

作山更生園

作山更生園からは、ゲームコーナーについてご報告いたします。中庭に設けられた特設会場にて、誰もが気軽に参加できるゲームコーナーをご用意しました。輪投げやお菓子のくじ引き、ヨーヨー引きに型抜きと、どのゲームを遊ぶうかとわくわくしながら列に並ばれるご利用者の表情がとても印象的でした。

得点によって景品がもらえるということもあり、輪投げに成功して歓声を上げられる方もいれば、真剣な表情で型抜きに挑戦されるご利用者もいて、皆様それぞれのスタイルで秋祭りを楽しまれていました。

今後も、ひとりひとりに楽しんでいただける企画づくりに努めてまいります。



輪投げに挑戦！

こいけ障害者支援センター

秋イベントでは、ご利用者やご家族、地域の方々への感謝と笑顔に包まれた秋のひとつきを過ごすことができました。

イベント当日のバザーコーナーでは、自慢の雑貨品を所狭しと店頭に並べると、たくさんの方が「可愛いー！」と言って手に取ってくださいました。購入して下さった、あるご利用者のご家族も「これ本当



自慢の雑貨品

にうちの子が作ったの？」

「こんなことができるなんてビックリ！」と驚かれていました。支援センターの雑貨制作では、ご利用者の「できる」を活かし、役割分担をしながら活動しています。ひとりひとりが制作過程に携わりながら、これからもご利用者の「できる」を伸ばし、その幅を広げられるように、職員一同支援していきます。

こいけホーム

こいけホームは昨年同様、飲み物ブースを担当いたしました。ステージのあるメイン会場にテントを構えていたため、ご利用下さった方も多くいらっしやったのではないのでしょうか。お茶にコーヒー、リンゴジュース等8種類のお飲み物に加え、今年は給水用のジャグを各休憩所に設置しお客様をお迎えしました。受付開始までもう間もなくという時に、懸念していた雨が降り始めてしまいました。開会直前に天候が回復し、職員一同大慌てでテーブルや椅子を拭き上げたのですが、小さなトラブルを楽しく乗り越えることが出来ました。ご来場の皆様にも、楽しい時間を過ごしていただけたのなら幸いです。



飲み物ブースも大盛況

小池更生園 便り

お寿司を堪能!? 日帰り旅行!



小池更生園 支援課

武藤 優美

9月8日・10日の2日に分けて、日帰り旅行を開催しました。今回の目的地は、富津にあるお寿司屋さんの「ひろ寿司」です。思いっきりお寿司が堪能できると思って、参加されるご利用者の皆さまも、しっかりおしゃれをしてから出発を待ちました。車椅子のまま安全に乗降できるリフト付きの大型観光バスをご用意して、職員もご利用者も準備万端です。車内では「旅のしおり」も配布され、わくわくした表情で予定を確かめたり、大型モニターで放映される映画を鑑賞されたり、あるいは大きな窓ガラスに映る景色を眺めたりと、皆さま思い思いに旅路を楽しまれていました。

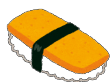
乗車しておよそ2時間。ひろ

寿司で待っていたのは、大きなネタがのったお寿司たちと、そして天ぷらをはじめとする豪華な料理の数々でした。ご利用者の皆さまも、バスに揺られてお腹が空いていたこともあり、目を輝かせながらお寿司とお料理を堪能されていました。おかわりしたい!という方や、器用に寿司ネタだけを召し上がる方も見受けられるなど、存分にお寿司を楽しまれるご様子に、職員



思い思いにお寿司を堪能!

も思わず笑顔になりました。復路ではお買い物タイムも用意され、市原サービスエリアにてお土産をはじめとするショッピングを楽しみました。「楽しかった」「また行きたい!」というお声を聞くことができ、来年も、ご利用者の皆さまの思い出に残るような旅行を企画したいと願っています。



強度障害基礎研修報告

小池更生園 支援課

石阪 賢人

8月29・30日に実施された令和7年度千葉県強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)受講のご報告です。強度行動障害とは医学的な診断名ではなく、本人や周囲の人の暮らしに強い影響を及ぼす状態の事を指します。障害をお持ちの方は健常者と比べて各感覚が非常に過敏であることが多く、強度行動障害になるトリガーも多様です。そのため、その方の障害特性の把握が非常に重要だということや、強度行動障害の当事者が他者に危害を加えてしまった場合、実は当事者ご本人も困惑されていることを理解しました。その方の苦手なことやストレスの原因を支援員が理解し、その人にあった支援をすることで、強度行動障害をお持ちの方も地域社会の一員として安心して生活することが出来ることを学びました。

千葉県知的障害者福祉協会 中堅職員対象研修報告

小池更生園 支援課

鈴木 亮

9月15・16日に鴨川グランドホテルにて開催された、千葉県知的障害者福祉協会主催の中堅職員向け研修に参加致しました。2日間に渡る研修の中でも、特に社会福祉法人フラット理事長・林氏の講演が最も印象的でした。「質の高い支援力を身に付けるためのポイント」をテーマに行われた講演では、職員同士のコミュニケーションの質を高めることが虐待防止に直結すること、そのためには会議や議論の場での心理的安全性が重要であることが語られ、支援現場でのチームワークの重要性や権利擁護との関係を改めて理解することができました。

中堅職員という立場になった今、チームや職場でどのようにリーダーシップを発揮すべきかを意識しながら、支援に当たりたいと考えています。

作山更生園便り

スポーツの秋

フライングディスク大会と
手をつなぐスポーツのつどい

秋晴れのもと、今年も秋のフライングディスク大会が開催されました。心地よい風が吹くグラウンドに、ディスクの行方を追う真剣なまなざしと、笑顔があふれていました。参加された皆さまの表情は、勝ち負けを超えた「挑戦する喜び」に満ちており、見守る私たちも大きな勇気と感動を得ました。

また、知的障害者とその家族、福祉関係者等が一堂に集い、スポーツを通じて健康の増進と親睦を図る運動会「手をつなぐスポーツのつどい」が千葉市スポーツセンターで開催されました。



遠くまで飛んでいけ！



みんなで玉入れ頑張るぞ！

今回の大会では、玉入れ、リレーなどの競技を通じてお互いを励まし合い、拍手を送り合う姿があちこちで見られました。参加者同士が声をかけ合い、助け合いながら競技を楽しむ姿が印象的で、まさに「手をつなぐ」という大会名のとおり、心のつながりを感じる催しとなりました。スポーツには人と人をつなぐ不思議な力があります。障害の有無を越えて、一緒に汗を流し、笑い合える時間こそが、真の「共生」のかたちなのだと実感しました。

大会運営にご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。来年もまた、この秋空の下で笑顔が咲く大会となることを願っています。



メグスパ作品展

ふなばしメグスパでは、地域で活動されている、障害のある方々による作品展を開催しています。絵画、書道、手工芸など、ひとつひとつの作品には、作者の思いや個性、日々の努力が込められています。色鮮やかな絵や繊細な造形からは、見る人の心を優しく包み込む力が感じられます。

本展は、障害のある方々の表現活動を広く知ってもらうとともに、地域の人々との交流の場としても毎年多くの方に親しまれています。今回の来場者からも「元気をもらえる」「自分も何か始めたいくなる」といった感想も寄せられていました。

今後も様々な形で、ご利用者の皆様に、地域における作品発表の機会を提供してまいります。



作品と一緒にポーズ！

作山セレクトメニュー

作山更生園では月に一度、「セレクトメニュー」として昼食・おやつをご利用者さまにお選びいただく日があります。

9月は昼食のセレクトメニューの月。「キッチンカー」をお呼びして「ガパオライス」「キーマカレー」「ポークチョップ」の3品から事前に自分の食べたメニューを選びました。普段の昼食では味わえない、自分で選ぶ楽しみを体験しました。キッチンカーがやってくることで、施設の昼食時間はちょっとしたイベントのような雰囲気になりました。ご利用者さま同士での会話も弾み、笑顔が広がりました。

今後も、皆さまに楽しんでいただける昼食体験を企画していきたいと思っています。



出来立てのご飯嬉しいな！

こいけ障害者 支援センター便り

地域の中で

夏の暑さが落ち着き始めた9月下旬、「やちよ彼岸花まつり」が開催されました。今年は2日間の出店に備え、商品数を増やす必要があり、開催前の制作活動も一層の活気が生まれました。ご利用者からも「今日は何を作るの?」とやる気に満ちた言葉が聞かれるようになりました。

当日は天候に恵まれ、多くの人が来場されました。団体ツアーの方々が「記念に一つ下さい」



販 売 風 景 (村上緑地公園内)



と商品を購入して下さったり、「皆さん頑張って作ってすごだね」と励ましの言葉をいただいたりと、嬉しい交流がありました。販売活動に参加したご利用者の中には「いらっしやいませ」「ありがとうございます」と積極的にコミュニケーションを楽しむ方もいれば、恥ずかしそうにして、下を向いてしまう方もいました。

今回の参加を通じて、地域の方にこいけ障害者支援センターの取り組みを知っていただく良い機会となりました。運営スタッフの方々、商品を購入していただいた多くのお客様に感謝申し上げます。来年も「頑張って作ってきたんだね」とお客様に思っていただけできるよう、ご利用者がやりがいを感じられる活動を続けていきます。

こいけホーム便り

今年も快晴! 一泊旅行

10月28、29日に渡って、今年度もこいけホーム一泊旅行を実施することが出来ました。

昨年度は鴨川旅行を楽しみましたが、今年は茨城県の霞ヶ浦を一周するような旅を計画し、潮来ホテルに宿泊。水郷の町潮来ならではの景色や、食欲をそそる品数豊富な食事を堪能し、ゆっくりと日頃の疲れを癒す旅となりました。特に大浴場から一望できる、水路沿いに灯りが並ぶ幻想的な風景は、ご利用者の心にも強い印象が残ったのではないのでしょうか。

夕食後は、一泊旅行恒例のラオケ大会も開催され、各ご利用者が思い思いの歌を披露し、大変盛り上がりました。

翌日は道の駅いたこを訪れお土産を購入。特に潮来産の米粉を使ったどら焼き「虹どら」はたくさんのご利用者が購入されていきました。その後、歩崎公園に向かい、かすみキッチンとい

うかすみがうら市産の様々な食材を使用したレストランで昼食をとりました。

昼食後の自由時間では、公園内を散策したり、併設されている市営の水族館をのぞいたり充実した時間を過ごすことができました。

こいけホーム到着後も、「楽しかった」「夕食の魚料理が美味しかった」「潮来また行く」等ご利用者からたくさん声を聞くことができ、支援員も含め大変すばらしい旅となりました。来年度以降もご利用者が楽しんで頂けるような旅行を計画してまいります。



法人だより

手をつなぐスポーツのつどい

絵画展のご報告

今回の絵画展では、作山更生園の「すずのね班」「うみ班」のご利用者が作品制作に取り組みました。テーマは「スポーツ」。サッカーからオリンピックまで、それぞれのイメージする「スポーツ像」の多様性にまずは驚かされました。個々の作品にも「個性」が色濃く現れており、毛糸や絵の具、シールなど、様々な道具を自由に駆使しながら取り組まれていました。中でも運動会の絵を描かれている方が多く、不思議と「スポーツの秋」というワードが頭に浮かんできました。今回出品した作品たちは受賞とはなりませんでしたが、利用者の方々がもつ個性や豊かな想像力を外部へ発信することができたことを嬉しく思います。

今後も作品展への出展

を積極的に行ってまいります。

手をつなぐスポーツのつどい
競技大会のご報告

9月25日澄んだ秋晴れの中「第52回手をつなぐスポーツのつどい」が開催されました。事前のイメージとは異なり、ご利用者がとてもものびのびとされている様子から、一般的な運動会よりも多様性を重視したイベントとなっっていることに驚きました。小池更生園や作山更生園、こいけホームのご利用者が参加されましたが、支援員・ご利用者ともに、和気あいあいとした雰囲気の中で存分に楽しむことができました。特に、最後の種目である「フオーク・ダンス」でのご利用者の笑顔が印象に残っています。県内他法人のご利用者や職員



の皆さまとの交流にもつながり、大変有意義な機会となりました。

全国社会福祉軟式野球大会
大阪堺大会 結果報告

10月21日(火)・23日(木)に開催された全国社会福祉軟式野球大会(大阪堺市)に参加してまいりました。21日は前夜祭として、全国各地の施設職員との交流の機会となりました。前夜祭途中から試合の抽選会となり、心聖会はなんと前回大会覇者の清水旭山学園(北海道)と試合することになりました。

22日の試合当日、全国大会初戦突破を目指して試合に臨みましたが、さすがの清水旭山学園。打撃、守備と心聖会の付け入る隙もなく、終わってみれば大差で負けてしまいました。残念な結果でしたが、全国大会優勝チームと試合ができたことは、とても良い経験となりました。

今回の大会は良い報告ができるように、ベストを尽くしたいと思います。今年度も様々な大会に参加させていただき、ありがとうございました。



編集後記

今年も残すところわずかとなりました。今号がお届けできることを嬉しく思います。

編集中の今、朝夕の空気がひんやりと感じられる季節となり、園の周りの木々の葉も、段々と舞いはじめました。秋は実りと感謝の季節。行事や活動を通じて、ご利用者の皆さまの笑顔があちこちで見られ、そのたびに温かい気持ちを抱きました。

作品作りや外出行事など、それぞれの個性が輝く場面に出会うたび、日々の積み重ねの大切さを改めて感じます。今号では、そんな秋の日常を少しでも感じていただけるよう、ご利用者の皆さまや職員の頑張りをお届けしました。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。皆様元気に穏やかに過ごせますよう願っております。これから、施設の「今」を温かく伝えられる広報誌づくりを心がけてまいります。

